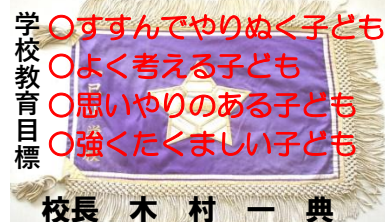


一已だより

【特別号】 令和8年9月30日発行

深川市立一已小学校

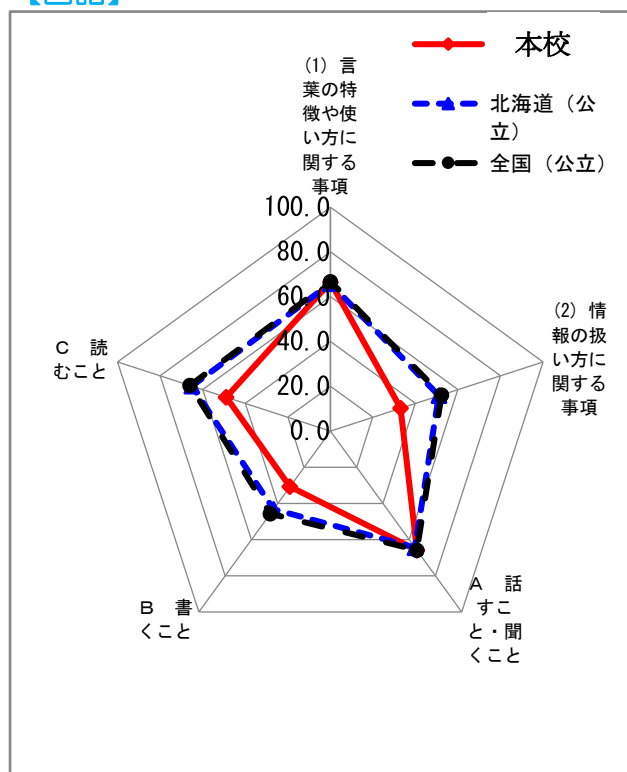


1. 全国学力・学習状況調査（教科に関する調査結果）について

・平均正答率

	国 語	算 数
一已小	53	53
北海道	60	54
全 国	60. 9	56. 4

【国語】



- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

〔国語分析〕

成果

「知識及び技能」の正答率は 66.5% であり、全道 (65.9%) や全国 (66.8%) と同等以上の水準となっている。特に漢字の書き直し (「みじかい」が 84.1%、「ふしぎ」が 72.7%) において、全道や全国の平均を大きく上回る高い正答率を示している。構成メモの工夫を問う問題 (1ー) でも 86.4% と高い正答率で、領域別では「話すこと・聞くこと」が 65.9% と良好である。

課題

「情報の取扱いに関する事項」の正答率が 33.0% (全道: 51.0%、全国: 52.3%) と大きく下回っている。

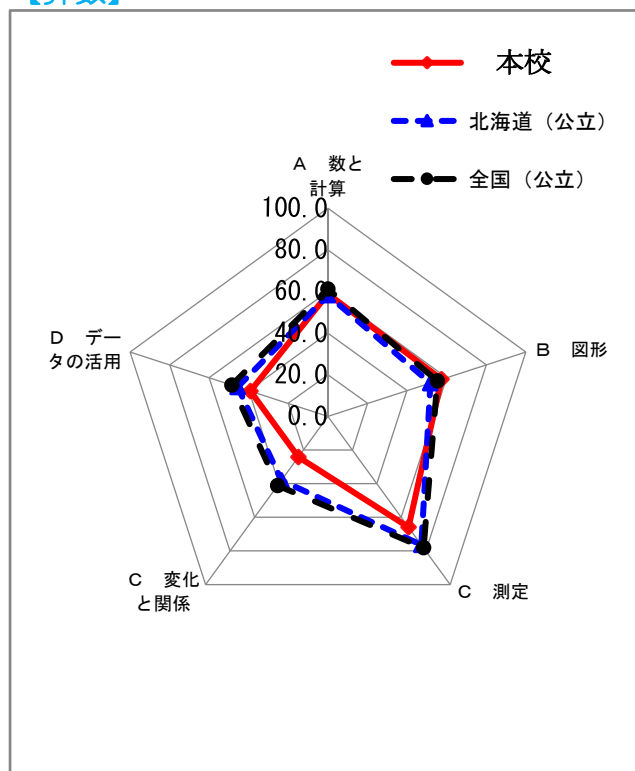
領域別では「書くこと」(30.7%) と「読むこと」(48.9%) に課題が見られている。

記述式問題の正答率は 34.1% と低く、特に「自分の経験と結び付けて考えを書く問題 (3三(2))」では 無解答率が 34.1% に達している。

今後の取り組み

高い正答率を示す「漢字力」や「構成メモの理解」という本校の強みを活かし、課題である記述式の無解答率 (特に自己の経験を交える問題で 34.1%) を減らすため、日常的な「思考のテンプレート (記述フレーム)」の導入や、メモから文章化するプロセスのステップでの指導が求められる。

【算数】



A 数と計算 B 図形
C 測定、変化と関係 D データの活用

〔算数分析〕

成果

「知識・技能」の正答率は 59.3% であり、全道 (57.4%) を上回っている。領域別では「図形」が 57.4% と、全道 (51.8%) や全国 (55.3%) を上回っている。個別問題では、立方体の体積を求める式 (75.0%)、面の構成 (79.5%)、カードを用いた最大数作成 (97.7%) など高い正答率となっている。異分母分数の大小判断と理由記述 (3(3)) の正答率も 54.5% と良好である。

課題

「思考・判断・表現」の正答率が 35.2% と、全道 (42.5%) や全国 (45.4%) に比べて低くなっている。領域別では「変化と関係」(24.2%) や「データの活用」(39.2%) に大きな課題が見られている。特に、二次元の表から条件に合う人数を読み取る問題 (4(3)) が 11.4%、テープの 1.5 倍の図を選択する問題 (2(4)) が 13.6% と、正答率が極めて低い。

今後の取り組み

正答率が極めて低い「割合と図の連動 (13.6%)」や「二次元の表の読み取り (11.4%)」という具体的な課題に対応するため、単なる公式暗記にとどまらない「テープ図や数直線」を用いた視覚的・体感的な割合指導や「色分け・指差し (マーキング)」による複合データを整理する活動を取り入れていくことが必要である。

児童の学びへの還元を最優先に、本調査の対象学年である6年生への個人票返却は終えております。既に調査問題と個人票を見比べながら、「できたこと」や「難しかったこと」などを振り返り、今後の学習の目標を立てるきっかけとしているかと思います。本調査の結果は、学校においても、学習指導の充実や学習状況の改善に役立てていきます。下記に、全国学力・学習状況調査の問題や正答例が掲載されている国立教育政策研究所の QR コードを掲載いたします。ご活用ください。10月30日に発行予定の「已小だより」では、全国学力・学習状況調査における「生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果」についてお伝えいたします。

【令和8年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について】



<https://www.nier.go.jp/26chousa/26chousa.html>

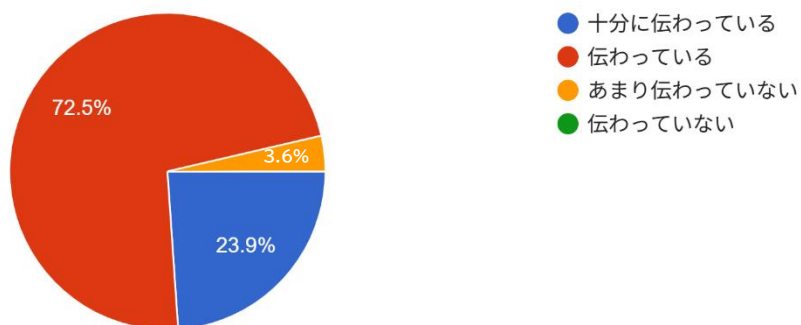
2. 学校評価（7月期）の結果について

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この結果を踏まえ、学校生活がより一層充実したものになるよう努めてまいります。

① 保護者アンケート（回答率51.1%）

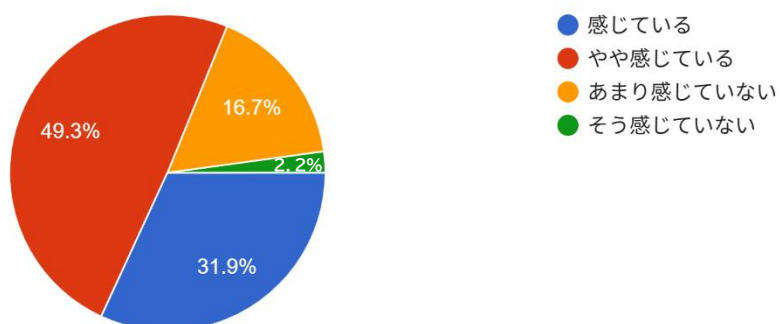
本校の教育方針や教育活動の様子は十分に伝わっていますか。

138件の回答



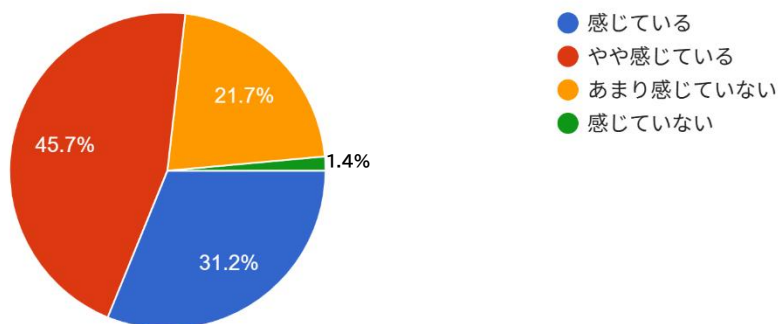
日常の教育実践を通して、お子様の学力は向上していると感じますか。

138件の回答

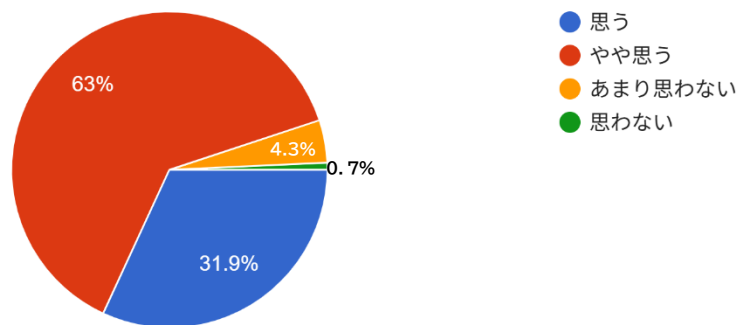


日常の教育実践を通して、お子様の体力は向上していると感じますか。

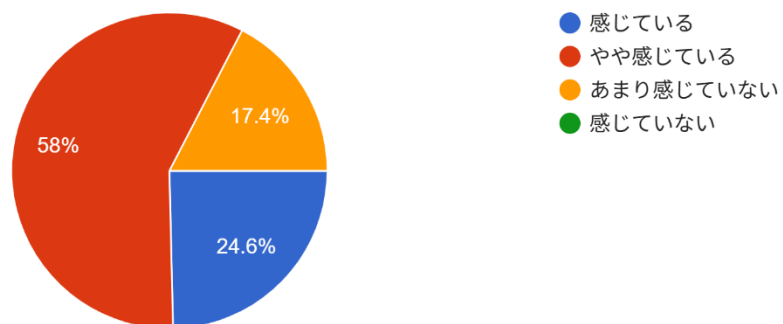
138件の回答



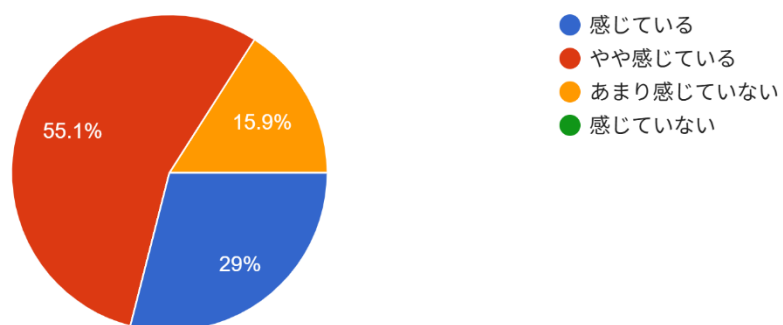
本校の児童会活動や特別活動を通して、お子様の「...「人間性」などは、育まれていると思いますか。
138 件の回答



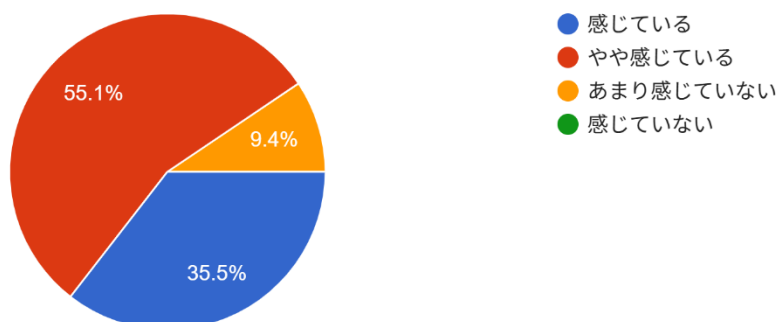
本校の行事や日常の教育活動を通して、お子様の自己肯定感は育まれていると感じますか。
138 件の回答



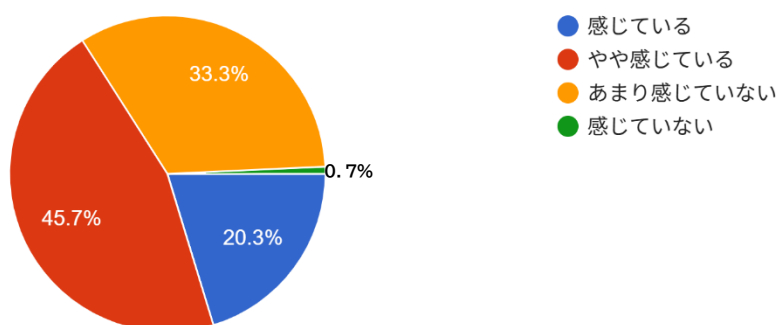
本校の安全教育や食育を通して、お子様の安全に対...事・健康への関心が高まっていると感じますか。
138 件の回答



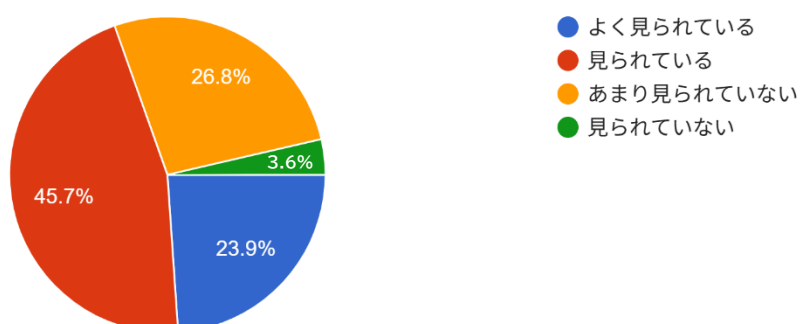
本校の生徒指導や日常のかかわりを通して、お子様...ない心や思いやりが育まれていると感じますか。
138 件の回答



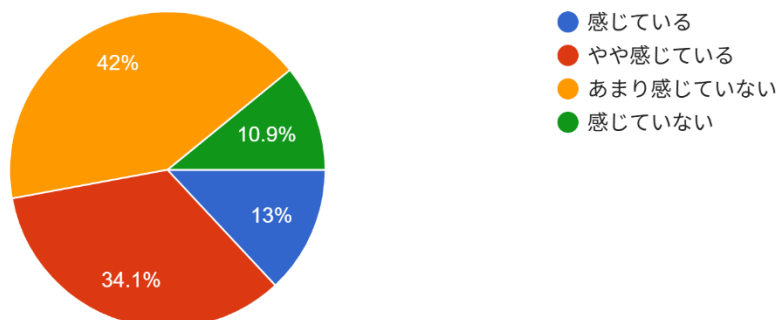
地域と連携した教育活動を通して、お子様に地域 (...域への興味・関心が高まっていると感じますか。
138 件の回答



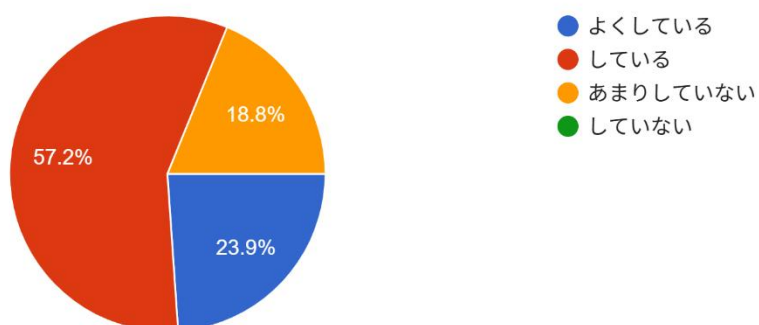
ご家庭において、お子様に宿題や自主学習に粘り強く取り組む姿勢は見られていますか。
138 件の回答



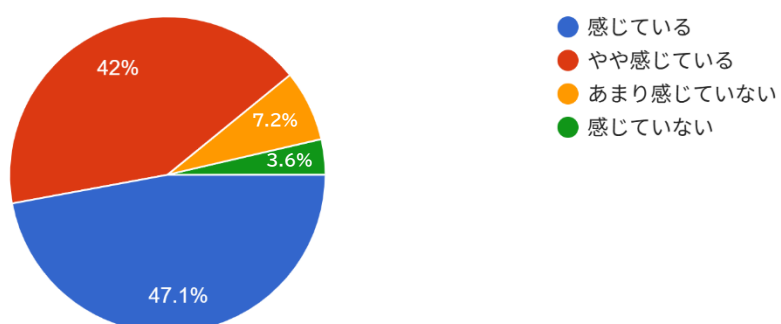
本校の学校司書を活用した図書室の環境づくりや...読書をする習慣が身についていると感じますか。
138 件の回答



お子様は、すすんで挨拶をしていますか。
138 件の回答

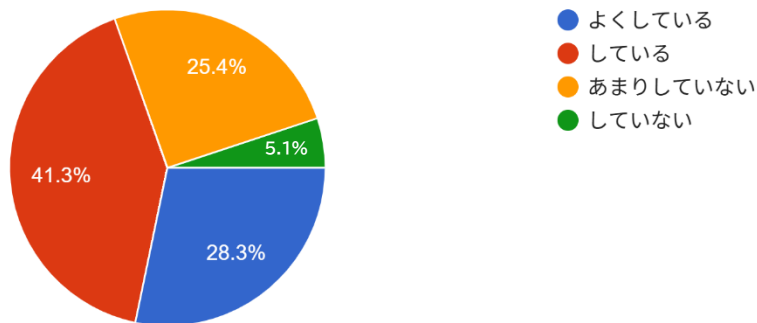


お子様は、楽しく学校生活を過ごしていると感じますか。
138 件の回答



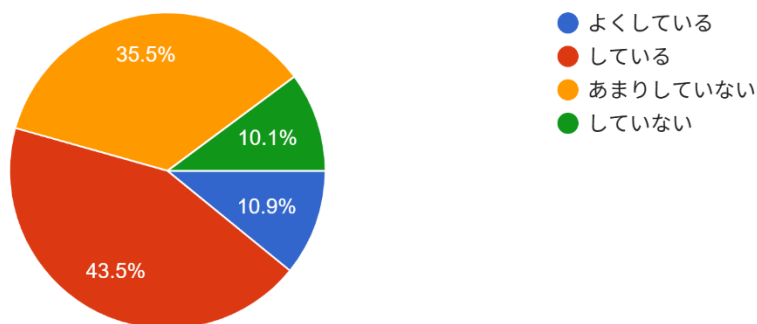
お子様は、前日に学習道具の準備をしていますか。

138 件の回答



お子様は、ゲーム（動画）を見過ぎたりしないよう時間を意識していますか。

138 件の回答



一己小学校をより良くするという観点でご意見等がありましたらご記入ください。

- ・いつもお世話になっております。毎日担任の先生やお友達との楽しかった話、悔しかった話面白かったことを息子に教えてもらい、私も学校へ通っているような気分させて頂いております。学習旅行と、自主学習(何か作っているのでしょうか?)の時間が特に楽しい！！と言っています。楽しい取り組みを企画してくださって、先生たちには感謝しています。育てているお花が咲いたことも喜んでいました。今後も、小学生らしい情操面や教育のご指導よろしく願いいたします。
- ・運動会の際、前列に席を取った人が立ち見をしているので後ろの方が見づらいので周知徹底していただきたいです。
- ・いつもありがとうございます。
- ・赤信号を遊び感覚で渡ってしまう子がいると聞きます。
- ・小さな子どもの声や保護者の声が反映されていくと良いです。子どもを主語に。子どもたちの声が届く学校でありますように。
- ・もう少し宿題の難易度を上げてほしい
- ・参観日を1日に全学年まとめることは難しいのか、運動会、学習発表会も全学年一緒にできたらとてもいいですね。今年度の運動会では前例に椅子を置いて座ったり三脚を立ててる人が多く見づらかったので来年度対策できたらしてほしいです。

- ・地域と連携した学習を取り入れる。

分析・考察

1. 学校・家庭の強み（肯定的な回答がおよそ 80%以上の項目）

学校の教育活動に対する満足度や、児童の心の成長面について、保護者から非常に高い評価と信頼が得られている。

- ①教育方針・活動の伝達：96.4%（十分に伝わっている・伝わっている）
- ②児童会・特別活動による人間性育成：94.9%（思う・やや思う）
- ③学校生活の楽しさ（保護者から見た様子）：89.1%（感じている・やや感じている）
- ④生徒指導等による思いやり・優しい心：90.7%（感じている・やや感じている）
- ⑤安全教育・食育による意識向上：84.1%（感じている・やや感じている）
- ⑥学力向上：81.2%（感じている・やや感じている）
- ⑦自己肯定感の育成：82.8%（感じている・やや感じている）
- ⑧挨拶の習慣：81.1%（よくしている・している）

【考察】

学校の教育方針への理解率は 96.4%と極めて高く、保護者との良好な信頼関係が築かれていると考える。また、人間性・思いやり・学校生活の楽しさといった「情操・心の成長面」に対しては、8～9 割以上の保護者から高い肯定的評価を得ている。

2. 課題（肯定的な回答が 80%未満の項目）

※80%を下回った項目は、「体力・生活習慣・家庭学習」に関するものが中心。

- ① 体力の向上：76.9%（感じている・やや感じている）

【考察】

児童自身のアンケートでは「運動している」が 82.1%だったのに対し、保護者視点ではやや評価が下がるギャップが見られる。日常の体力向上に向けた取組やその成果を発信する必要がある。

- ② 地域連携学習への関心：66.0%（感じている・やや感じている）

【考察】

地域と関わる行事や学習内容が、家庭にまで十分に伝わっていないか、興味を広げる工夫の余地があると言える。

- ③ 家庭での宿題・自主学習への粘り強さ：69.6%（よく見られている・見られている）

【考察】

児童アンケートでは「宿題をしている」が 86.7%と高かったですが、保護者から見ると「粘り強く取り組んでいるか（質の面）」については不十分と感じている。

- ④ 前日の学習道具の準備：69.6%（よくしている・している）

【考察】

自立した生活習慣の定着には、家庭での声かけや見守りがまだ継続して必要な状況である。

⑤ ゲーム・動画の利用時間意識：54.4%（よくしている・している）

【考察】

児童アンケート（77.8%がルールを守っていると回答）との最も大きな乖離が見られている。子ども自身は「守っているつもり」でも、保護者から見ると「見過ぎている・時間を意識できていない」と感じており、家庭内でのメディアコントロールにおける葛藤が見て取れる。

⑥ 読書習慣：47.1%（感じている・やや感じている）

【考察】

児童アンケート（52.3%）と同様、全項目の中で最も肯定的回答が低くなっている。

3. まとめ（今後に向けて）

1. メディア利用ルールの「家庭・学校連携」

保護者の最大の悩みの種である「スクリーンタイム（ゲーム・動画）」について、学校からの各種便りやPTA活動、出前授業等を通じて家庭でのルールづくりの啓発・共有を行う。

2. 読書推進の取り組み強化

児童・保護者双方で50%前後にとどまる読書習慣に対し、学校司書や図書室の有効活用、読書指導の強化が求められる。

3. 行事運営ルールの見直し（運動会等のマナー周知）

保護者の不満に繋がっている「観覧席の撮影・立ち見マナー」について、事前のアナウンスで明確なルール（前列での立ち見・三脚禁止など）を徹底する。

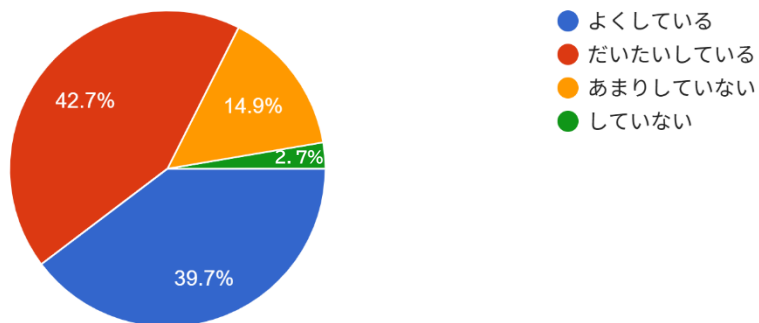
参考（児童アンケートと保護者アンケートの回答比較）

項目	児童の肯定率	保護者の肯定率
学校の楽しさ	76.0%	89.1%
ゲーム・動画の利用	77.8%	54.4%
宿題・学習姿勢	86.7%	69.6%
読書習慣	52.3%	47.1%

② 児童アンケート

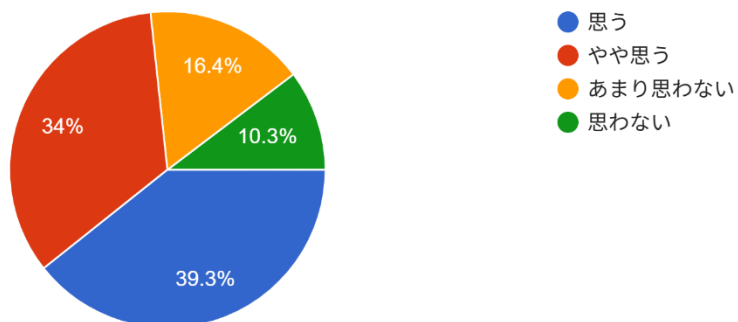
先生や友だちに、自分からあいさつをしていますか。

262 件の回答



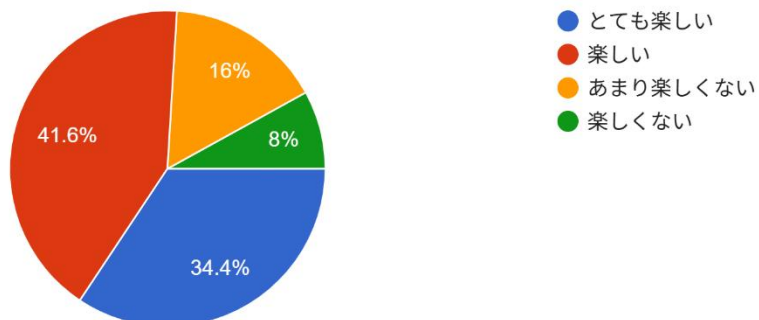
自分には、よいところがあると思いますか。

262 件の回答

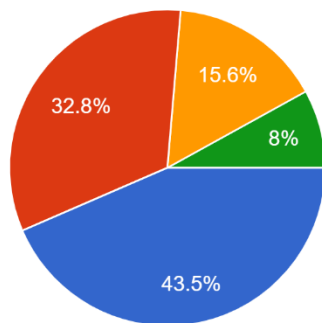


学校は楽しいですか。

262 件の回答

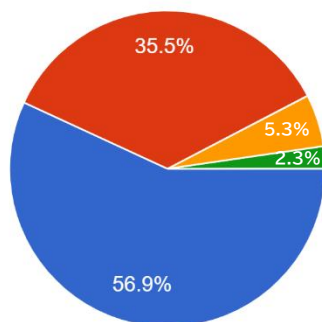


前日に、学習道具の準備をしていますか。
262 件の回答



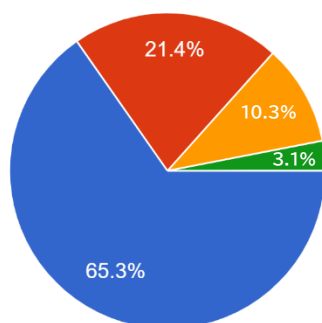
- している
- だいたいしている
- あまりしていない
- していない

交通安全のきまりや自転車のルールを守っていますか。
262 件の回答



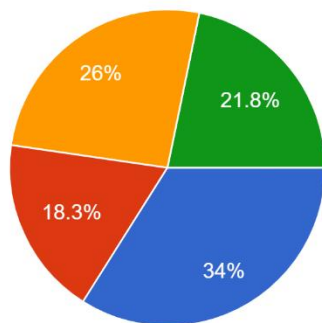
- よく守っている
- だいたい守っている
- あまり守っていない
- 守っていない

家や学童などで、自主学習や宿題をしていますか。
262 件の回答



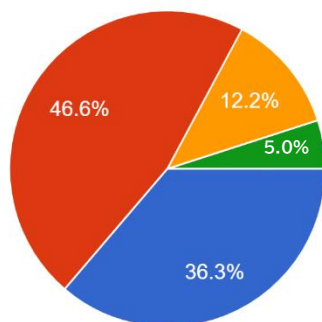
- よくしている
- だいたいしている
- あまりしていない
- していない

家や学童などで、本を読んでいますか。
262 件の回答



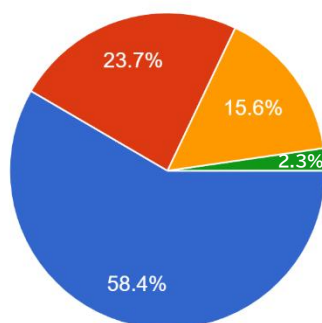
- よく読んでいる
- だいたい読んでいる
- あまり読んでいない
- 読んでいない

学校の勉強は、わかりますか。
262 件の回答



- よくわかる
- わかる
- あまりわからない
- わからない

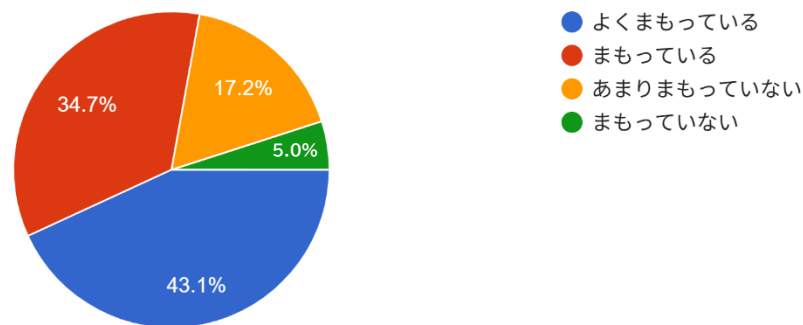
体を動かして、運動していますか。
262 件の回答



- よくしている
- だいたいしている
- あまりしていない
- していない

ゲームやYouTubeなどの時間やオンラインについて、おうちの人とやくそくを守っていますか。

262 件の回答



一己小学校(いちやんしょうがっこう)がもっとよくなるために、よいアイディア(かんがえ)があったらおしえてください。

- ・元気にあいさつ
- ・先生が優しくなってほしい
- ・家のことでも少しルールを決めた思う。もう少しイベントを増やしてほしい
- ・けんかをなくそう
- ・あいさつをされたらあいさつをする。けんかをしてたら声をかける。
- ・ぜんこうあそびをもっとふやしたいです
- ・「学校」できたらみんなとなかよくすること。
- ・いろいろな良い個性をちゃんと人前でも発揮する
- ・いじめをしないよう。
- ・①委員会のきかくを9倍増やす。②自分から友達になってくれるように言う
- ・しっかり挨拶をしたらいいとおもう
- ・いっぱいあいさつする!!
- ・グラウンドにポイ捨てをしないこと
- ・あまり休まない。(かぜ、病気などはいいいけど)
- ・仲良くする。人にやさしくする。
- ・全校遊びや遊びをもっとふやしたい。
- ・学校のこうないにゴミをぽいすてしないでほしい
- ・けんかをしない
- ・あいさつでいっぱいになる小学校
- ・じぶんからあいさつできるひとをたくさんつくれたらいいとおもう
- ・仲良くすることだけ
- ・挨拶係を作る、休み時間を増やす
- ・グラウンドに野球場を作ったら学校だけじゃなくて深川市が良くなる。
- ・悪口を言わない 喧嘩をしない
- ・あいさつをたくさん

- ・ルールを守って楽しいがっこうにする。
- ・喧嘩が多いから喧嘩を見つけたらすぐ止めるための行動をする
- ・4年2組の目標「余計なことを言わない」と「態度に表さない」を気おつけたらもっといい学校になるとおもいます。
- ・悪口や自分の行動を良くするといいかもしれません
- ・挨拶も多くて明るい
- ・得意をたくさん作る
- ・もっと笑顔があふれる学校
- ・いつも通りのことをいつも通りでやる
- ・悪口を言わない
- ・もっと、全校遊びとか、一己小のみんなで遊べたり、話せたりすることを増やせたらいいと思います。
- ・全校の仲をもっと深められるような活動をしたら良いと思います。
- ・流行りに乗る
- ・知らない人との関係が良くなれば良いと思う。
- ・チクチクことばを、いわない人を、つくる学校(ちあんのよい学校)
- ・全校遊びを増やしてほしい
- ・生徒が楽しめる企画を用意したほうが良いと思う。夏は教室が熱くなるからエアコンを1個増やしてほしい。机を大きくしてほしい。チョークの色を増やしてほしい。給食にデザートを出してほしい。放送で流す曲の種類を多くしてほしい。
- ・掃除をするときにちゃんと掃除してほしい。中学年、低学年がしっかり掃除してくれなくて困っています。・水筒を6～9月の間、ロッカーではなく、机の上や机の近くに置かせてほしい。授業中に水分が足りなくなることが多いからです。
- ・水筒をテーブルの上または机の横に置く。
- ・夏休みや冬休みの宿題を無くす
- ・図書室にエアコンが欲しい
- ・挨拶を積極的にする
- ・各学級以外の理科室とかにエアコンをつけてほしいです。
- ・水筒を机の横に置きたい。喧嘩をなくすために悪口を言わないように取り組んでほしい。自分が王様みたいな人が減ってほしい。
- ・水筒をテーブルの上やテーブルの横にかける。
- ・机を大きくしてほしい。給食にアイスを出してほしい。
- ・月に1回 掃除をちゃんとしたらご褒美がもらえるイベントを開催してください。喧嘩を無くすために悪口や暴言、暴行などを無くす活動をしてほしいです。A、B、C日課でも休み時間は一定にしてほしいです。C日課は掃除がないので全学年自分たちの教室の周りのゴミを拾う活動を行ってください。
- ・水筒を横に置きたい
- ・体育館と、理科室にエアコンを追加する
- ・ロッカーを、もうちょっとデカくしてほしいです。廊下側にもエアコンが欲しいです。 みんなに届くエアコンにしてください。(エアコンを真ん中に設置してほしいです)

- ・やりたいクラブを提案しできそうならとくていの人数を集めてクラブをせつりつするなど
- ・行事をもっと増やしたらいいと思う
- ・けんかをなくしたほうがいい。悪口をいわないほうがいい。
- ・いじめをなくすためにもっと全校遊びを増やす
- ・挨拶をすると良いと思います。
- ・2学期にもクラブをやる。
- ・全校遊びなど、みんなで交流すると仲が深まると思います
んなで交流すると仲が深まると思います

分析・考察

1. 児童の強み（肯定的な回答がおおよそ 80%以上の項目）

- ①交通ルール・マナー：92.4%（守っている・だいたい守っている）
- ②自主学習・宿題：86.7%（よくしている・だいたいしている）
- ③授業の理解度：84.9%（よくわかる・わかる）
- ④自分からのあいさつ：82.4%（よくしている・だいたいしている）
- ⑤運動習慣：82.1%（よくしている・だいたいしている）
- ⑥前日の学習準備：76.3%

【考察】

基本的な生活習慣や学習姿勢、安全意識は非常に高く維持されている。「宿題をする」「授業がわかる」「運動をする」といった日々の基盤ができる児童が8割を超えている。

2. 児童の弱み（課題）

- ① メディア・家庭ルールの遵守：77.8%（守っている・だいたい守っている）

【考察】

ゲームやYouTube等の利用時間は、睡眠不足や学習意欲・対人関係にも影響を与えるため、家庭と連携したルールの再確認が必要である。

- ② 学校生活の楽しさ：76.0%（とても楽しい・楽しい）

【考察】

自由記述欄にある「喧嘩・悪口・いじめを無くしたい」「チクチク言葉をやめたい」「全校遊びを増やしたい」という声は、この24%の児童の不満や不安に直結していると考えられる。

- ③ 自己肯定感（自分の良いところ）：73.3%（思う・やや思う）

【考察】

8割以上の児童が勉強を理解し、宿題もしているにもかかわらず、4人に1人が自分を評価できていない。成果を褒められたり、他者に貢献して認められたりする体験（自己有用感）が不足している可能性がある。

- ④ 読書習慣：52.3%（よく読んでいる・だいたい読んでいる）

【考察】

タブレットや動画の普及に伴う全国的な課題でもあります。読書環境の工夫や朝読書などのアプローチが求められる。

3. 今後に向けて（まとめ）

学習・生活リズム・安全面においては、良好な基盤（80%以上）を持っている。

今後、学校全体の満足度を高めるためには、「人間関係の安心感（悪口・喧嘩の減少と交流増）」と「自己肯定感の育成（認められる体験）」に焦点を当てた取り組みを行うことが、70%台にとどまっている項目を80%以上に引き上げる鍵となると考える。